

I. 命と建造は、聖書の基本的で、中心的な啓示です：

A. 命は建造のため、すなわち三一の神の団体の表現のためであり、建造は命のものです：

ヨハネ11:25 イエスは彼女に言われた、「私は復活であり、命である。私の中へと信じる者は、たとえ死んでも生きる。

1. 命は内容であり、建造はその内容の団体の表現です。

2. 命は神ご自身であり、建造は団体の有機的な実体における命としての三一の神の表現です。

マタイ16:18 そこで私もあなたに言う。あなたはペテロである。私はこの岩の上に、私の召会を建てる。ハデス[陰府]の門も、それに勝つことはない。

ローマ12:5 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。

B. 命は、キリストの中で具体化され、その霊として実際化されている三一の神であり、ご自身を私たちの中へと分与し、私たちに享受を与えます。建造は、召会、すなわちキリストのからだ、神の霊の家であり、神の拡大また拡張として、神に団体の表現を得させます。

コロサイ2:19 かしらに結び付いていないのです。この方から、からだ全体は、節と筋によって豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのです。

C. ヨハネによる福音書が啓示しているのは、三一の神がご自身を命として彼の信者たちの中へと分与するということ、またこの分与の結果として、信者たちが神の建造、神の拡張、拡大、団体の表現となるということです。

ヨハネ1:4 彼の中に命があった。この命は人の光であった。

10:10 盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかならない。私が来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。

D. 主の回復は、命と建造の回復であり、それは私たちが建造されて、神の家またキリストのからだとしての召会となるためです。

エペソ2:21 その方の中で、建物全体が共に組み合わされ、主の中にある聖なる宮へと成長していき、

22 その方の中で、あなたがたもまた共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです。

E. 聖書の中心的なビジョン、すなわち、神の家の建造は、聖書の最も主要な部分、また聖書から抽出されたエキスであると考えられます。

II. 出エジプト記の神聖な記録の順序において、祭司の体系は幕屋の後にあります：

出27:20 また、あなたはイスラエルの子たちに命じて、叩いて取ったオリーブの純粋な油を明かりのために持って来させ、ともし火を絶えず燃やしておかなければならない。21 集会の天幕の中、証しの箱の前にある垂れ幕の外側で、アロンとその子たちは、夕から朝まで秩序正しく、エホバの御前でそのともし火を整えなければならない。それは、イスラエルの子たちが代々にわたって守るべき永遠のおきてである。

A. 出エジプト記第27章20節から21節が啓示しているのは、幕屋が存在するようになった直後、祭司がともし火をともし必要があったということです。このことが示しているのは、霊的に言って、祭司の体系と幕屋は一つの実体であったということです。

B. 予表において、一つの実体としての祭司の体系と幕屋が表徴するのは、神の贖われた民から成る召会が、霊の家また祭司の体系であるということです。

出25:8 彼らに私のために聖なる所を造らせなさい。それは、私が彼らの中に住むためである。28:1 また、あなたはイスラエルの子たちの間から、あなたの兄弟アロンとその子たち、すなわち、アロン、アロンの子ナダブとアビフ、エレアザルとイタマルを、あなたの近くに来させ、私に祭司として仕えさせなさい。

C. 出エジプト記の絵を通して、神は、神の贖われた民が幕屋であり、また祭司の体系でもあることを啓示しています。新約における予表の成就において、幕屋と祭司の体系は一緒にされています：

1. 旧約において家と祭司の体系は分離されていましたが、新約において霊の家は祭司の体系であり、祭司の体系は霊の家です。

2. 私たちは、幕屋を持たずに祭司の体系を持つことはできませんし、祭司の体系を持たずに幕屋を持つこともできません。

3. 私たちは霊の家でないなら、祭司の体系となることはできません。同様に、私たちは祭司の体系でないなら、霊の家となることはできません。

4. 召会の二重の機能、すなわち住まいの機能と祭司の体系の機能は、幕屋と祭司の体系によって予表されています。

出エジプト記の予表で、神は二つの事柄を用いて召会の機能を描写します。まず、召会は神の住まいとして機能します。召会がないなら、神にはホームがありません。…召会のもう一つの機能は神に仕えることです。私たちは神に住まいをもたらすとき、また彼に仕えるのです。 **2・火**

Ⅲ. 出エジプト記において、幕屋が祭司の体系の前に述べられているという事実が強調しているのは、信者たちが建造されて神の住まいとなる必要があります、それによって団体の組み合わされた祭司の体系として神に仕えることができるということです：

出27:21 集会の天幕の中、証しの箱の前にある垂れ幕の外側で、アロンとその子たちは、夕から朝まで秩序正しく、エホバの御前でそのともし火を整えなければならない。それは、イスラエルの子たちが代々にわたって守るべき永遠のおきてである。28:1 また、あなたはイスラエルの子たちの間から、あなたの兄弟アロンとその子たち、すなわち、アロン、アロンの子ナダブとアビフ、エレアザルとイタマルを、あなたの近くに来させ、私に祭司として仕えさせなさい。

A. 祭司の体系は共に建造された祭司団であり、一つの実体として生活し、奉仕します。

B. 建造がなければ、祭司の体系を持つことは不可能です：

1. 祭司の体系は、単独の信者たちではなく、団体のものです。祭司の体系は、共に建造された祭司たちから成っています。
2. 祭司の体系の奉仕は、組み合わせにおける団体の奉仕です。この団体の奉仕は、主が今日尋ね求めているものです。
3. 建造がなければ、祭司の体系は崩壊します。建造がなければ、私たちは祭司の体系を持つことはできません。

C. 祭司の奉仕は、建造され建造する働きです：

エペソ2:21 その方の中で、建物全体が共に組み合わされ、主の中にある聖なる宮へと成長していき、22 その方の中で、あなたがたもまた共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです。

1. 私たちの働きの一つの面は建造されることであり、もう一つの面は建造することです。
2. 私たちは建造されることによって建造しています。これは真に祭司として神に仕えることです。
3. 神に祭司として仕えることは、神の住まいを建造することであり、それはまた建造されることです。
4. 私たちは祭司の奉仕と建造とを分離することはできません。私たちは建造されてはじめて、正しい祭司であって、真の建造の働きを遂行しているのです。
5. 建造されて霊の家になっていることが、奉仕の基本的な条件です。私たちは建造されていないなら、奉仕することはできません。
6. 私たちは建造されて祭司の体系となる時、神に受け入れられる働きを持つことができます。
7. これは私たちが見る必要のある驚くべき光です。私たちの祭司の体系は建造でなければならず、建造のためでなければなりません。

D. 祭司の体系は家と等しく、家は建造にかかっているので、祭司の体系も聖徒たちが建造されることを必要とします：

I ペテロ2:5 あなたがた自身も生ける石として、霊の家に建造されていきながら、聖なる祭司の体系となって、イエス・キリストを通して、神に受け入れられる霊のいけにえをささげなさい。

9 しかし、あなたがたは選ばれた種族、王なる祭司の体系、聖なる国民、所有として獲得された民です。それは、あなたがたを暗やみから、驚くべき光の中へ召してくださった方の美德を、あなたがたが告げ知らせるためです。

1. I ペテロ第2章5節における家と祭司の体系の順序は、出エジプト記における順序に基づいています。
2. 建造の必要のゆえに、召会はず神の家でなければならず、それから祭司の体系であることができます。
3. 建造は組み合わせと関係があります。私たちは建造の中へと建造され、組み合わせされてはじめて、主に仕える立場を得ます。

仮に、私たちが…集会所を建てていたとき、すべての材料を積み上げる以上のことは何もなかったとします。私たちはある材料の美しさを評価したかもしれませんが、集会所、すなわちそこで集会する建物を持たなかったでしょう。家と集会所のいずれについても、材料が共に建てられる必要があります。原則は祭司の体系についても同じです。祭司の体系は家と等しく、家は材料の建造にかかっているため、祭司の体系も聖徒たちが建造されることを必要とします。…ペテロの第一の手紙第2章5節でペテロは、霊の家へと建造されるようにと、私たちに命じ、また励ます方法で書いています。すでに強調してきたように、この霊の家は聖なる祭司の体系です。あなたはなぜこの節で、家がまず述べられ、次に祭司の体系が述べられているのかと思うかもしれませんが、この順序は出エジプト記の順序に基づいています。そこにはまず幕屋、次に祭司の体系があります。祭司の体系は、幕屋、家の後に来なければなりません。なぜ霊の家も最初に来なければならないのでしょうか？ なぜ召会はず神の住まいであって、次に祭司の体系でなければならないのでしょうか？ 答えは、私たちが共に建造される必要があることに見いだされます。建造の必要のゆえに、召会はず祭司の体系であり得る前に、神の家でなければならないのです。…聖書の強調は、どのようにして聖くあるか、あるいはどのようにして霊的であるかについてではありません。そうではなく、強調は神の建造にあります。

旧約の奉仕において、宮の中へと入って香をたく祭司は一人だけでしたが、香をたくことは祭司の体系の責任でした。

4. 私たちの唯一の必要は、建造されることです：エペソ4:16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

Iコリント14:26 それでは兄弟たちよ、どうなのですか？ あなたがたがいつも集まるときには、それぞれの人に詩歌があり、教えがあり、啓示があり、異言があり、解釈があります。すべての事を、建造のために行ないなさい。

- a. 聖書の中で強調しているのは、どのように聖となるか霊的になるかではなく、強調は神の建造です。
- b. 真の霊性は建造の事柄です。建造がなければ、すなわち、霊の家がなければ、聖別、霊性、霊的な力はありません。
- c. 聖となり、霊的になり、力強くなる唯一の道は、神の建造の中へと建造されることです。

私はクリスチャンとして初期のころ、建造が極めて重要であることを見ていませんでした。主のあわれみによって、私は救われた時から主を愛してきました。五十年以上の間、主に対する私の愛は決してやみませんでした。さらに、私は多くの時間を費やして彼を追い求めてきました。私はまた聖、霊性、力を追求しました。私はこれらの題目について多くの本を読みました。しかしながら、私の聖、霊性、力の追求は失敗に終わりました。最終的に私は、聖となり、霊的になり、力強くなる唯一の方法が、神の建造の中へと建造されることであることを学びました。

- d. 私たちは保護されたいなら、神の建造の中へと建造される必要があります。私たちの保護は、私たちの霊性ではなく、神の建造です。
- e. 最も霊的なクリスチャンでさえ、彼らの生活の中に短所があるのは、建造に欠けているからです。

成就する訓練のメッセージの中で、私たちは意見と特異性の問題を取り扱いました。しかしあなたはどれほど自分を訓練して意見と特異性の問題を解決しようとしても、もし建造されていないなら、それらのメッセージの何もあなたにとって何の助けにもならないでしょう。私たちが共に建造されてはじめて、意見と特異性の問題は対処されることができます。あなたが進んで神の建造の中へと建造され、実際に建造されている限り、意見と特異性の問題は消え去るでしょう。…私たちの唯一の必要は、建造されることです。…真の霊性は建造の事柄です。建造、霊の家がないなら、聖別、霊性、霊的な力はありません。ある兄弟は親切で、聖く、霊的であるように見えるかもしれませんが、しかし、もしこの兄弟が神の建造の中へと建造されていないなら、彼の表面的な霊的富は霊的破産となるでしょう。

IV. 神の唯一の目標は、建造です：

A. 神の目標は、常に建造です。

B. 永遠にわたって、神は新エルサレムを欲しています。今日、彼は召会を欲しています。

啓21:3 そして、御座から大きな声がこう言うのを聞いた、「見よ、神の幕屋が人と共にある。神は彼らと共に幕屋を張り、彼らは神の民となり、神自ら彼らと共にいて、彼らの神となる。

C. もし私たちが主に私たちの間で建造を得ていただかないなら、神の定められた御旨に関する限り、私たちは失敗です：エペソ3:11 神が私たちの主キリスト・イエスの中で立てられた、永遠の定められた御旨にしたがっているものです。

1. 神の民の間の状況が失望させ、落胆させる状況である理由は、建造が欠けているからです。

2. 主はまだ彼の建造の目標に到達していません。

3. 私たちが神の目標から離れるなら、神の永遠の定められた御旨を成就するために何も行なうことはできません。マタイ7:21 私に向かって『主よ、主よ』と言う者がみな、天の王国に入るのではなく、天におられる私の父のみこころを行なう者だけが入るのである。

D. 神が欲しているのは、神の民と一の中で住むことができる人、組み合わされて一つ実体となることができる人、彼の住まいとなる人です。

詩133:1 見よ、何とすばらしく、何と喜ばしいことであろう。兄弟たちが和合して住んでいる！

E. 私たちはみな見る必要がありますが、主の回復の目標は私たちの命またすべてのキリストを回復して、私たちが造り変えられ、建造されることです：

コロサイ3:11 その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

Ⅱコリント3:18 しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいの顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。

1. 私たちが共に建造される時、神は建造を得ます。

啓21:2 私はまた聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように整えられて、天から出て神から下って来るのを見た。10 そして彼は私を霊の中で、大きな高い山へ連れて行き、聖なる都エルサレムが、天から出て神から下って来るのを私に見せたが、

2. この建造が祭司の体系です。

経験(ビジネス・ライフ編):

- ① ガラテヤ5:19 さて、肉の働きは明白です。すなわち、淫行、汚れ、好色、20 偶像礼拝、まじない、敵意、争い、しつと、怒りの爆発、党派心、分裂、分派、21 ねたみ、泥酔、宴楽、そのような類の事柄です。…そのような事を行なう者は、神の王国を継ぐことはありません。22 しかし、その霊の実は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善良、信実、23 柔和、自制です。

命は建造のためです。命はその内容であり、建造はこの内容の団体的な表現です。ですから、私たちに命があるなら、通常、建造があるはずです。…命と建造は、聖書の基本的で、中心的な啓示です。私たちは聖書が建造のための命で始まっているのを見ます。命は源であり、建造は命の結果です。

あなたが主イエスを信じ受け入れた時から、神の命があなたの中に入りました。あなたは主の御名を呼び求め、御言葉を祈り読みすることでこの命を享受することができます。しかし、神の御心は、あなたが命を持つことと、命を享受することにとどまりません。あなたは必ず外側の表現も変えられる必要があります。言い換えると、あなたの家庭での子供や配偶者に対する表現、ビジネス・ライフにおける同僚や上司に対する表現が、もはや自分の肉からのものではなく、神の命の霊からのものに変えられるべきです。神のあなたに対する御心は、命と建造であり、建造は表現の変化を含みます。

- ② Iコリント14:26 それでは兄弟たちよ、どうなのですか？ あなたがたがいつも集まる時には、それぞれの人に詩歌があり、教えがあり、啓示があり、…すべての事を、建造のために行ないなさい。

成就する訓練のメッセージの中で、私たちは意見と特異性の問題を取り扱いました。しかしあなたはどれほど自分を訓練して意見と特異性の問題を解決しようとしても、もし建造されていないなら、それらのメッセージの何もあなたにとって何の助けにもならないでしょう。私たちが共に建造されてはじめて、意見と特異性の問題は対処されることができます。あなたが進んで神の建造の中へと建造され、実際に建造されている限り、意見と特異性の問題は消え去るでしょう。

あなたの特異性は、あなたの有用性を損ないます。特異性は罪や誤りではないのですが、アンバランスでこだわりすぎる部分があるので、他の人との調和を妨げたり、プロジェクトの進め方を偏らせたりします。ところが自分の努力で特異性を対処することは、事実上不可能です。しかし神に感謝します。あなたが召会生活の中で兄弟姉妹と組み合わせられ、共に奉仕をする時、特異性が暴露されます。その時あなたは自分の特異性を告白し、至聖所に進み出て主と親密に交わることができます。そうすれば兄弟姉妹と共に建造される中で、あなたの特異性は造り変えられ、調整され、正常化されます。その結果、あなたの有用性は引き上げられます。

補601

1. おもい出そう、ダビデのちかったこと、
「わが家入らず、目にねむりあたえず、
主のためところを見いだすまでは」。
全能者の住まいを絶えずもとむ。
2. 主のいえ、いまこう廃しているのに、
何たる盲もく、主よ、われたおしませ。
やま行き、木を切り、いえを建てよ。
いつかと言わずに、いま建造せよ。
3. 主よ、われらをなが建ぞうのために、
ダビデの日のようけいはつしませ。
主のいえ建造する、何とさいわい。
ながねがいわがねがい、建造をもとむ。
4. 建造のために、そなえするようと、
なれの召しにいま、われはこたえる。
建造された召かい、陰府(よみ)のもんも
打ち勝つことなし、主よ、建造せよ。

1248 The Church - Consecration For The Church

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. Recall how David swore,
"I'll not come into my house,
Nor go up to my bed,
Give slumber to mine eyelids,
Until I find a place for Thee,
A place, O Lord, for Thee."
Our mighty God desires a home
Where all His own may come. 2. How blinded we have been,
Shut in with what concerns us;
While God's house lieth waste —
Lord, break through, overturn us;
We'll go up to the mountain,
Bring wood and build the house;
We'll never say, "Another day!"
It's time! We'll come and build! | <ol style="list-style-type: none"> 3. O Lord, against these days,
Inspire some for Your building,
Just as in David's day —
A remnant who are willing
To come and work in Your house,
Oh, what a blessed charge!
Your heart's desire, is our desire —
We come, O Lord, to build. 4. Within those whom You'd call
Put such a restless caring
For building to give all —
These times are for preparing;
The gates of hell cannot prevail
Against the builded Church!
The hours are few, the builders too —
Lord, build, O build in us! |
|---|---|

補603 建造当趁今日

- 1 记得大卫起誓：“我不进我的帐幕，不上我的床榻，不容我打盹闭目，直等到我为耶和华，寻得安息之处。”全能的神巴望有家使属祂者可住。
- 2 我们何等眼瞎，只顾自己的事务，任凭神殿荒凉—哦主，你必须开路！我们情愿上山取木，为建你殿劳碌；绝不再说：“且等明日，”建造当趁今日！
- 3 哦主，此时此境，激动人起来建造，正如大卫之日，自动答应你呼召。同心合意，配搭一起，受此托付，多好！我们所喜，是你心意，主，我们来建造。
- 4 主，为着你召会，叫我们废寝忘食，为建造献一切—专心预备你居所！阴间的门不能胜过已建成的召会。时候不多，建造我们，让你能早归回！
(重复最后两行)